



親子で水鉄砲を作ろう

郷土資料館(7月11日)



親子で昔ながらの水鉄砲作りに挑戦。真剣な顔つきで竹を切ったり、くぎを打ち込んだりしながら作りました。完成した水鉄砲に水をくんで竹棒を押すと、勢いよく水が飛び出し、思わず笑顔に。中には「水がこぼれないようにするのが難しい」とタオルの巻き方を何度も調整し、試行錯誤する人の姿も見られました。参加者は親子で水をかけ合ったり、水の飛距離を競ったりして遊び、夏らしい思い出を作りました。

競技用車いすを体験！

小高原小学校(7月13日)



アジアパラ競技大会の開催に向けて、パリ2024パラリンピック車いすラグビーで金メダルの若山英史選手を講師に迎え、6年生の児童たちが競技用車いすに試乗しました。若山選手が鬼となっていた鬼ごっこでは、スピードを出したり細かく動いたりして逃げ切ろうとする子も。講話では「周りの人を大事にして、たくさんコミュニケーションをとること」「いろいろなことに諦めずに挑戦し続けること」の大切さが伝えられました。

飲酒運転の根絶を目指して

きたくる広場(7月15日)



飲酒運転根絶キャンペーンに、一日警察官としてシーホース三河の長野誠史選手、Super girlsのSAHOさん・NANAKAさんが参加。「お酒を飲んだら運転しないようにしましょう」などと声を掛けながら「飲酒運転なくそうめん」を配り、啓発を行いました。長野選手は飲酒運転根絶に向けて「飲酒運転は一人一人の意識でなくせるもの。今回を機に今一度意識を高めてほしい」と集まった人々に呼び掛けました。

天下の奇祭 万燈祭

秋葉社周辺(7月25日・26日)



秋葉社の祭礼として240年以上続き、火難防除と町内安全を祈願する万燈祭。氏子7町が数カ月かけて制作した高さ約5m、重さ約60kgの万燈のほか、アジア・アジアパラ競技大会の開催に合わせて大会PR万燈も披露されました。大きな万燈を1人で担ぎ、おはやしに合わせて力強く舞う姿はまさに圧巻。日が沈むにつれて一層鮮やかな光を放つ万燈に、多くの人が魅了されました。